聖路加国際大学 第3回外部評価委員会　報告書

日時：2022年7月25日（月）14：00～15：30　　Web開催

外部評価委員［出席］小山　眞理子（日本赤十字広島看護大学　名誉学長）
島袋　香子（北里大学　学長）
曽根　智史（国立保健医療科学院　院長）
福井　トシ子（公益社団法人日本看護協会　会長）
［欠席］渡瀬　博俊（東京都中央区保健所長）

自己評価委員［出席］堀内成子学長、吉田俊子看護学部長、麻原きよみ看護学研究科長、
高橋理公衆衛生学研究科長、奥裕美教育センター長、糟谷知香江学術情報センター長、
大田えりか国際・地域連携センター長、小山田恭子学生支援センター長兼教務部長、
小林京子学生部長（看護学研究科）、大出幸子教務部長（公衆衛生学研究科）、
歌川光一准教授（看護学研究科）、渡辺明良法人事務局長、島田裕司大学事務部長、
高鳥直人マネジャー（IR推進室）、中島薫マネジャー(教務・学生課)
本郷一真アシスタントマネジャー（教務・学生課）、岡林史朋子（教務・学生課）
＜委員会事務局＞　関加織、木村裕子、高村美帆
［欠席］山内照夫研究センター長、ギルモースチュアート教授（公衆衛生学研究科）
永瀬能央マネジャー（教務・学生課）

［資料］聖路加国際大学第3回外部評価委員会資料
2021年度事業報告書
大学案内(看護学部、看護学研究科、公衆衛生学研究科)
広報誌聖路加NEWS（No.23、No.24）

【1】開会

定刻、第3回外部評価委員会を開会した。堀内学長より島袋委員が指名され、委員長に就任した。

【2】出席者紹介

聖路加国際大学外部評価委員会ならびに聖路加国際大学自己評価委員会の出席者が紹介された。

【3】議題

1.　報告

以下について資料に基づき報告を行った。

(1) 機関別認証評価結果報告

2021年度受審の大学基準協会の機関別認証評価における適合判定について報告を行った。評価項目11件中、長所1件、改善課題3件の提言が付された。

(2) 第2回外部評価委員会の点検結果・改善報告（CAPDo）

前回意見のあった4項目（内部質保証、教員評価の工夫、3ポリシーと学生、教員への支援(研究時間の担保等)）の改善の取り組みについて報告を行った。

2.　現在の課題・取り組みについて
以下について資料に基づき説明し、評価を行った。

(1) 看護学部（学部長　吉田俊子）
2022 年度一般入試選抜 A 方式における採点ミスとその対応について
2 月に実施した 2022 年度一般入試 A 方式の一次試験における採点ミスの原因と対応について説明、評価を行った。
外部評価委員から問題・解答の確認時期と方法、学内体制に関する意見があった。

コロナ禍における看護教育
新型コロナウイルス感染が続く状況下での看護教育、臨地実習と講義の実施状況、大学の感染防止対策について説明、評価を行った。
外部評価委員から学生のワクチン接種状況、教育の変化が学生の能力や態度に影響を与えているかどうかについて質問があり、現状の説明を行った。

(2) 看護学研究科（研究科長　麻原きよみ）
新領域「ヘルスヒューマニティーズ」の展開
2023 年度より看護学研究科の新領域として開講するヘルスヒューマニティーズの概要、授業科目、検討の経緯について説明、評価を行った。
外部評価委員から受講者の対象範囲に関する質問、革新的で重要な領域になり得るとの意見があった。

DNP コースについて
看護の高度実践者のリーダー養成を目的とし、2017 年に本学が日本で初めて開講した博士課程 DNP コースの概要、学生募集の現況について説明、評価を行った。
外部評価委員からコース修了後について質問があり、修了生の活躍の状況、並びに在学生の特別研究プロジェクトについて説明した。

(3) 公衆衛生学研究科（研究科長　高橋理）
MPH（公衆衛生学修士（専門職））カリキュラムと実践課題について
専門職学位課程における 8 分野のコンピテンシーに基づくカリキュラム編成、最終学年で取り組む実践課題の概要を説明、評価を行った。
外部評価委員から実践課題・応用実践経験について質問があり、概要を説明した。

学生サポートの現状と課題
修了生の進路、キャリアサポートの取り組みと課題について説明、評価を行った。
外部評価委員からキャリアサポートの方法について質問があり、現状の説明並びに CEPH（米国公衆衛生教育協議会）の認証評価受審について説明した。

【4】質疑応答・意見交換
3 ポリシーに基づく大学の取り組みについて意見交換がなされた。

外部評価委員から、看護学部の 3 ポリシーについて、ディプロマポリシー（DP）の達成度調査、学生の DP の理解の仕方、DP の水準の妥当性、アドミッションポリシー（AP）の入試活用について意見があった。3 ポリシーは学士・修士・博士を比較検討すると良いのではないかとの助言、公衆衛生学研究科の AP が具体的でわかりやすいとの意見があった。

【5】閉会、欠席委員の意見聴取
すべての議事が終了し、閉会した。欠席した外部評価委員から後日、書面による意見聴取を実施した。

以上